

緑化重点地区《なんば・天王寺・あべの地区》 緑化等の方針について



1. 地区の概要
2. 関連計画
3. 整備・事業の取組状況
4. 対象範囲
5. "みどり"に関する課題の整理
6. 緑化等の方針の検討（たたき案）

1. なんば・天王寺・あべの周辺地区の概要

■ 立地特性

ミナミの玄関口であるなんばエリアと商業・文化・歴史などの資源が集結した天王寺・あべのエリアの2拠点を中心に構成される。

■ なんば ■

《道路》

- 東西方向は千日前通、南北方向は御堂筋・国道26号が通る。

《みどり》

- 駅周辺に大きな公園はなく、民間施設・なんばパークスにおいて、まとまったみどりが形成されている。

《交通ネットワーク》

- 大阪メトロ御堂筋線・千日前線、南海本線、近鉄難波線、JR大和路線が通る。
- 大阪都心と関西空港を結ぶ鉄道新線なにわ筋線の整備に伴い、新難波駅（仮称）が設置される予定。

■ 天王寺・あべの ■

《道路》

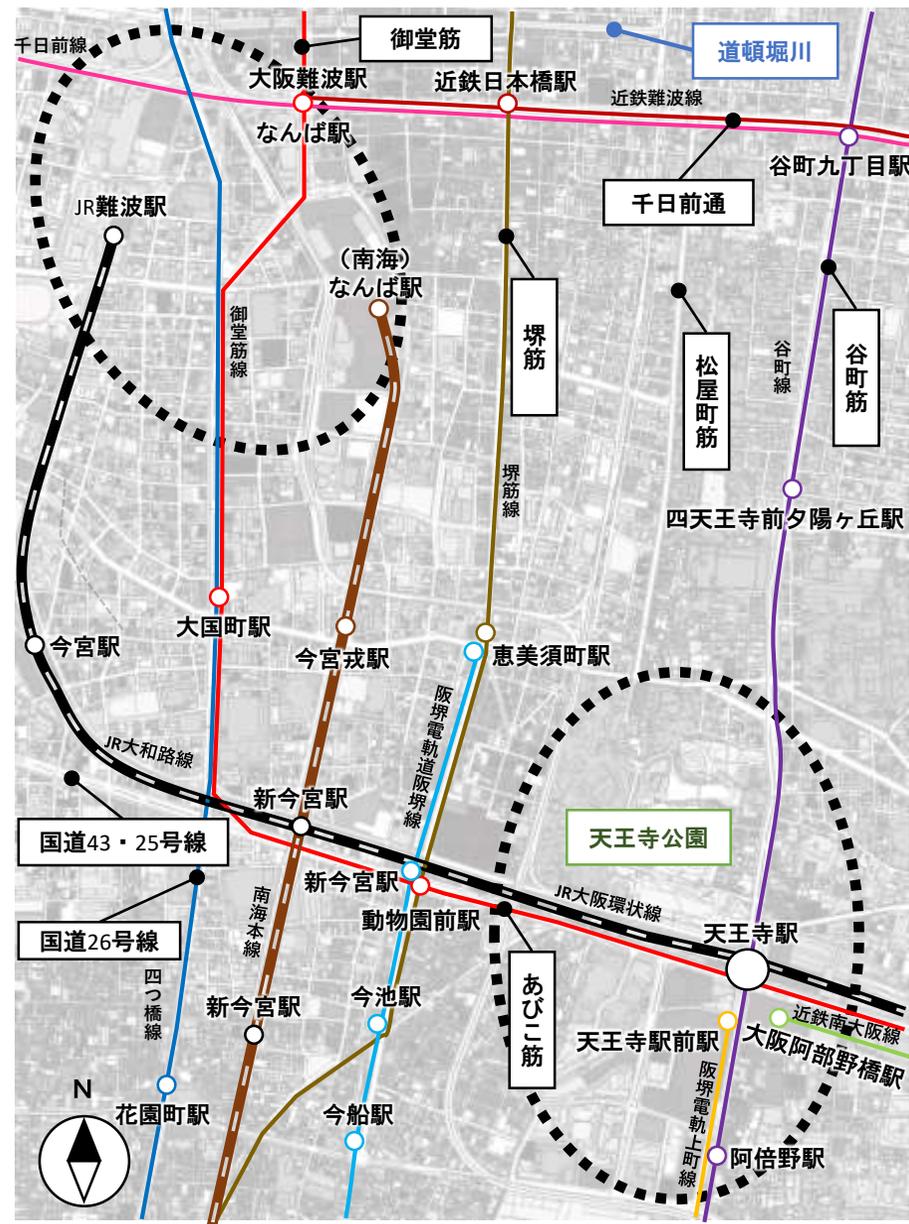
- 東西方向は国道43号・25号、南北方向は谷町筋が通る。

《みどり》

- 天王寺駅北西側に天王寺公園がある。

《交通ネットワーク》

- 大阪メトロ谷町線・御堂筋線、近鉄南大阪線、JR大阪環状線、阪堺電軌上町線が通る。



1. なんば・天王寺・あべの地区の概要

■ 土地利用状況

《なんばエリア》

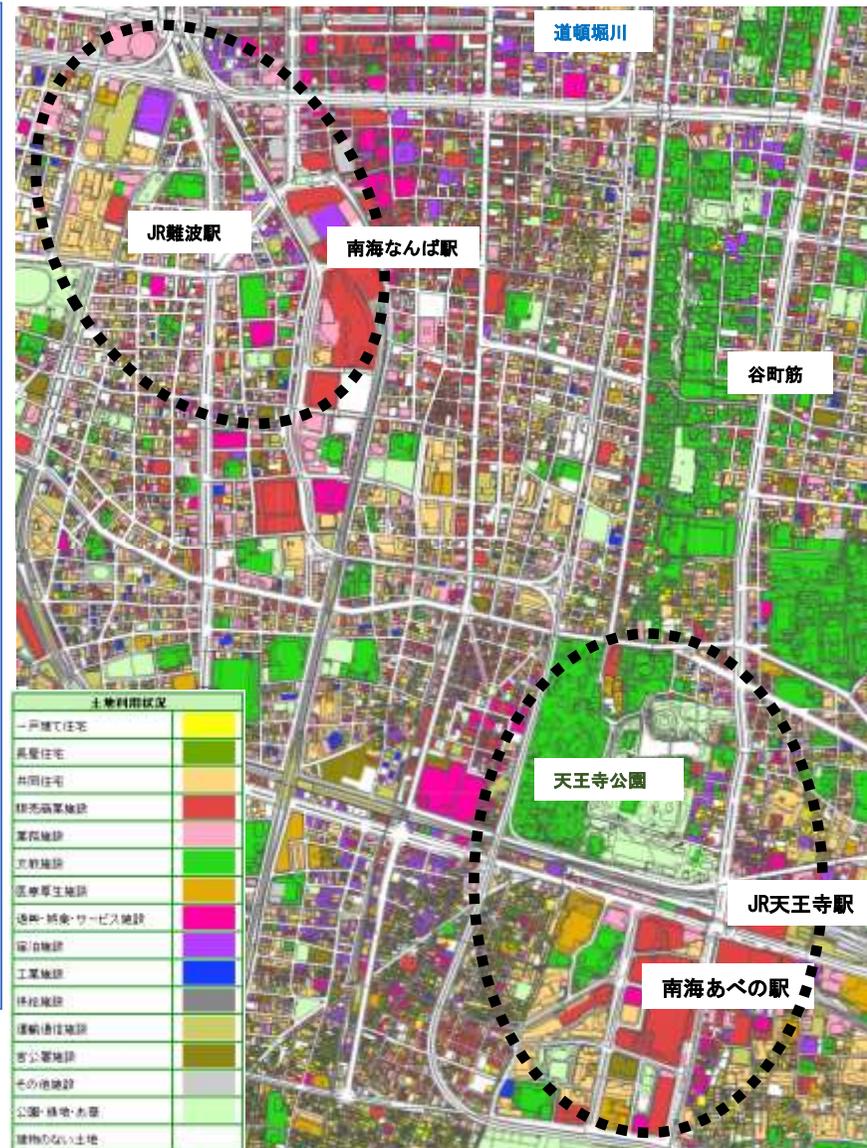
- JR難波駅周辺では、宿泊施設や共同住宅、業務施設が集積
- 南海なんば駅周辺では、なんばパークスをはじめとした販売商業施設や宿泊施設、業務施設等が集積
- その他の部分では、文教施設、サービス施設が点在しており、業務施設が多い
- 北部には、道頓堀川が位置し、とんぼりリバーウォークなど水辺を活かした環境整備が推進

《天王寺・あべのエリア》

- 天王寺エリアには天王寺公園、文教施設である天王寺動物園がある
- あべのエリアでは、天王寺駅周辺のあべのキューズモールをはじめとした販売商業施設が多くを占めており、共同住宅や文教施設、医療厚生施設などが混在

《その他周辺エリア》

- 天王寺公園北側には上町台地がひろがり、多くの寺院が立地する寺町のまちなみが続く



【土地利用図（なんば・天王寺・あべの区域） H29年】

1. なんば・天王寺・あべの地区の概要

■天王寺公園

- 第5回内国勸業博覧会（明治36年開催）の会場跡地に整備された大阪市で唯一の動植物公園。面積は約26.2ha。
- 西側は天王寺動物園、北東部は茶臼山や河底池の歴史・自然エリア、南東部はてんしばを中心とした賑わいのある広場エリアが広がり、北東部と南東部の間には林泉回遊式庭園の慶沢園と大阪市立美術館がある。
- 天王寺・阿倍野エリアの活性化のため、平成26年度より茶臼山や河底池の再整備、平成27年度からは民間事業者によるてんしばエリアの整備を行った。また、動物園は大都市大阪にふさわしい世界に誇れる動物園をめざし、令和3年度より地方独立行政法人化を行った。

